

群馬県がん患者団体連絡協議会

ニュースレター♪



大きくなって
リニューアルです

主な記事

- ◇ がんサロンについてみなさんに情報提供を依頼します
- ◇ リレー通信 第6回 「あけぼの群馬」の紹介
- ◇ 掲示板 (6月~7月の催しもの)

2008年6月1日 第8号

編集・発行/(財)群馬県健康づくり財団





がんサロンについて みなさんに情報提供を依頼します

先日、お知らせした群馬県がん対策推進計画に盛り込まれた「がんサロン」の設置について、会員のみなさんから「がん連協としての提案や方針をまとめあげ、患者会として県に提言したらいかがだろう」というご意見がありました。

群馬県として、「がんサロン設置」は患者会からの多くの要望に応える形で推進計画に取り入れたということです。現在はそのあり方について検討中ということで、今後、方針を決め、患者会にも意見を聞きたいとのことです。がんサロンについては島根が先進県だそうです。まず、がん診療連携拠点のがん支援センターに置くことができるか調整中とのことです。

そこで、県からがん連協に

- ◇他県の「がんサロン」について状況を知っていたり、情報があつたら教えていただきたい。
- ◇県内で空き店舗、公民館など空きスペースを提供して下さるような場所があつたら紹介していただきたい。できることなら無料だとありがたい。情報があればその後は県で交渉したい

以上2点について情報提供を求められています。情報のある会員さんは、がん連協事務局までお願いします。事務局で集約していきたいと思います。



リレー通信 各団体の活動

がん連協の各団体リレー通信

第6回目は
あけぼの群馬
紹介者は本田攝子さんです



〔あけぼの群馬〕は、乳がん患者の会です。平成7年、あけぼの会(会員数4000名)群馬県支部として発足し、平成19年、Brest Cancer Network Japanあけぼの会の一員として独立をしました。県内各地に、30代から80代まで約40名の会員がいます。

<目的>

- ・ 乳がん患者の速やかな社会復帰をサポートする。
- ・ 乳がん患者の立場から、社会に向けて、乳がんの早期発見の重要性をアピールする。

<主な活動>

- ・ 5月の母の日キャンペーン
- ・ 乳がん講演会
- ・ 顧問医による医療相談会
(群馬大学病院飯野祐一先生)
- ・ 会員親睦会(交流会、食事会など)
- ・ 会報の発行(年4回～)



2007年母の日キャンペーン

同じ仲間がいる、一人じゃない。
それがとても心強いのです。

「ふたたび、誇り高く美しく」が、あけぼの会のモットー。
一人で悩まない。勇気と希望をもって病気と向かい合っていけるような患者会で
ありたいと願っています。(年会費2000円)

☆ 各団体独自のキャンペーンも実施されています ☆

それぞれに活動を行う中で、団体独自にキャンペーンを実施されるところが見られます。あけぼの群馬の「母の日キャンペーン」に続き、1. 2の3で温泉に入る会群馬支部のみなさんも5月24日、25日と富士見の俵萌子美術館においてバザーやキャンペーンを実施するそうです。事務局には健康づくり財団のものですが、がんの啓発パンフレットやグッズなどがあり、お分けできますので、キャンペーン等を実施するときはお申し出下さい。

掲示板



6月～7月の催しです。看護フォーラムでは本田会長が発表します。会長さんががんばって！

第5回 群馬がん看護フォーラム

メインテーマ ～変わるがん医療・変えるがん看護～

日時：平成20年 6月7日(土) 13:00～16:30
会場：前橋市総合福祉会館
前橋市日吉町二丁目17-10

- 開会 13:00～
代表挨拶 群馬がん看護研究会 理事長 神田 清子
来賓祝辞 群馬大学医学部附属病院 腫瘍センター長 鹿沼 達哉 氏
- 特別講演Ⅰ 13:10～14:10
座長 群馬大学医学部保健学科 二渡 玉江 氏
『変わる群馬のがん医療・変える群馬のがん看護』
群馬大学医学部保健学科 教授 神田 清子 氏
(休憩 14:10～14:20)
- 特別講演Ⅱ 14:20～14:50
座長 群馬大学医学部附属病院 がん看護専門看護師 石田 和子 氏
『がん医療者・がん看護師に期待する役割』
NPO法人 日本がん患者協会 理事長 山崎 文昭 氏
(休憩 14:50～15:00)
- 一般演題 15:00～16:30
第1群 がん医療における最新の活動 座長:前橋東看護学校 黒澤 やよい 氏
1. 群馬県がん患者団体連絡協議会の活動について 群馬県がん患者団体連絡協議会 本田 攝子
2. 地域がん診療連携拠点病院 相談支援センターの紹介と現状 桐生厚生総合病院 千明 優子
3. 群馬大学におけるがん看護専門看護師教育の実際 群馬大学医学部保健学科 二渡 玉江
第2群 がん患者のQOLを高める症状マネジメント 座長:利根保健生活協同組合利根中央病院 鈴木 真紀子 氏
4. 瘻孔形成に伴う排泄物により皮膚障害をきたした子宮がん患者への看護支援
～IASMの理論を用いた皮膚障害に対する症状マネジメント～ 群馬大学医学部附属病院 中村 恵
5. 公立富岡総合病院におけるリンパ浮腫ケアの現状 公立富岡総合病院 清水 裕子
6. チーム医療における緩和ケア 伊勢崎市民病院 須永 知香子
7. 急性期病院における緩和ケアチーム活動の現状と課題 国立病院機構高崎病院 羽鳥 裕美子
- 閉会 16:30 閉会の辞 群馬がん看護研究会 副理事長 二渡 玉江

お問い合わせ先:前橋市昭和町3-39-22 群馬大学医学部保健学科
群馬がん看護研究会事務局 TEL:027-265-2203(FAXまたは留守番電話対応)

※がん看護研究会のご厚意によりがん連協加盟団体のみなさんは参加無料となるそうです。
当日は患者会会員用受付をお通りください。

【群馬県がん患者団体連絡協議会 事務局】

〒371-0005 前橋市堀之下町16-1
(財)群馬県健康づくり財団 総務部 総務課



電話027-269-7811・FAX027-269-8928
E-mail soumu3@gunma-hf.jp

編集後記

連休中、知り合いの家のお父さんが作ったという炉でバーベキューをごちそうになりました。あいにくの小雨でしたがテントを張って調理もしていただき至れり尽くせりの時間でした。屋外で、しかもみんなで食事をするのが楽しいですね。

編集担当 事務局 荒木美保